



嚥下通信 vol.2

嚥下障害シリーズ ～自助具の紹介～

食事が食べにくい方に対してさまざまな道具があります。

「自らを助ける」と言われている自助具の一部をご紹介します。

<箸>

バネ付箸（右用・左用）



対象

- ・麻痺等で指の力が弱い方
- ・スプーンから箸への移行を考えている方

特徴

- ・指を置くように持つことができる
- ・軽い力でつまみやすい

ピンセット型箸



対象

- ・箸を持つことはできても開閉操作が難しい方
- ・普通箸の操作がしにくくなってきた方

特徴

- ・バネが付いているため箸先が合う
- ・バネ付箸よりも難易度が高い
- ・軽い力でつまみやすい

<スプーン>

太柄・先割れスプーン



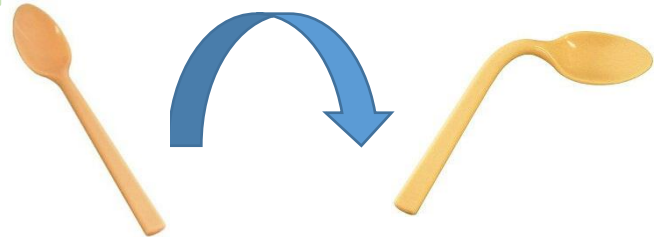
対象

- ・握力低下や手指の可動域制限のある方
- ・スプーンとフォークの使い分けが困難な方

特徴

- ・柄が太く、持ちやすい。
- ・スプーンまたはフォークとしても使用できる。
- ・持ち手を曲げて、口に運びやすい形に変えられる

フレックスシリコンスプーン



対象

- ・スプーンが重くて長時間持ち続けることが難しい方
- ・可動域制限などで口元にスプーンが向けられない方

特徴

- ・軽量であり、弱い力でも使用可能
- ・持ち手を曲げて、口に運びやすい形に変えられる

これらの自助具はほんの一例です。

食事のことや自助具選びでお困りの方はお気軽にお声かけ下さい！